

# ぐるみ

地域の共同活動で実践する事業  
～ 農地・水保全管理支払交付金 ～



仙台市青葉区

… ふる里を農村として維持していくために …

## Contents

- 平成 24 年度 実施アンケート結果
- 平成 25 年度 活動状況
- 平成 25 年度 共同活動に係る対象組織支援研修会について
- 平成 25 年度 復旧活動に係る対象組織支援研修会について
- 活動事例（石母田ふる里保全会、北小塩環境保全協議会）
- 文部科学大臣賞受賞（下刈敷地区環境保全活動組織：栗原市志波姫）
- その他活動・情報提供



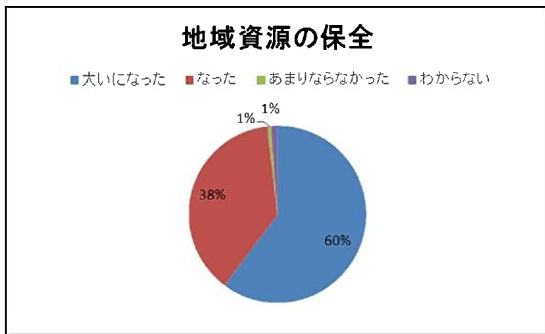


平成 24 年度に実施したアンケートは、大変回収率が高く、地域の現状と本事業の必要性を再認識する結果となりました。

このことから、本県における活動組織の皆様の意識の高さがうかがわれます。

## ○「農地・水安全管理支払活動」に取り組んだ結果について

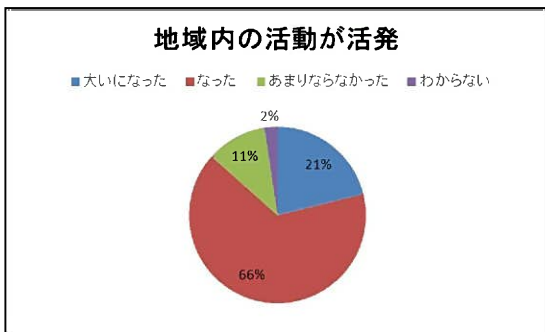
### (1) 地域資源(水路・農道・農地・景観・自然環境)の保全になりましたか？



ほとんどの組織で地域資源の保全に有意義な事業であると回答を頂いております。

「あまりならなかった」と回答頂いている組織の中には、事業が始まる前から、地域で同じような活動を実施していた組織も有り、資源の保全のために、必要な活動であることがわかります。

### (2) 若者の参加が増えた、話し合いの回数が増えた、新たなイベントが開催されたなど、地域内の活動が活発になりましたか？



9 割近い組織で、活発になったとの回答を頂いております。

地域コミュニティを形成する上で、様々な立場にいる方同士の同意形成が上手に取れていることがうかがわれます。

これからも地域のために、農家と非農家、お年寄りと若者や子供達が、それぞれ役割を持ち、身の丈に合った継続的に出来る活動を、実施していただきたいと思います。

### (3) 本事業が地域にとって良かったと思われることを記入してください。(回答より抜粋)

- ・非農業者を含めて老若男女の参加によって、地域内のコミュニケーションが取れるようになった。
- ・地域が一体となって、水路、農道を保全することで、若者の農業への関心が高まった。
- ・異なる職業の住民が力を合わせて汗を流した結果、忘れかけていた共同作業の意義を感じた。
- ・保全活動に対する意識が高まり、地域農業のあり方など話題の共有がもたれるようになった。
- ・生き物調査を通じて、父兄の参加や地域の環境を認識する機会となった。
- ・農道や水路等の管理体制が向上した。経費面で滞っていた水路の補修や農道整備等が進んだ。
- ・景観形成の取組で景観が良くなり、散歩する人が多くなった。
- ・水路や農道の除草によりゴミが少なくなった。ポイ捨て、不法投棄物が減少した。
- ・植栽活動により景観が美しくなり、作業した地域住民間での結が深まった。
- ・美しい里山の景観と、生活環境の質的向上が図られた。
- ・農地・水の活動以外でも、積極的な参加が見られるようになった。
- ・地元を綺麗にしなければならないという意識が高まり、郷土愛が強く感じられるようになった。

※平成 25 年度も現在アンケートを回収中です。集計結果が出ましたら、皆様にご報告いたします。

お忙しい中ご協力誠にありがとうございます。



## 平成25年度 活動状況

「農地・水保全管理交付金」は、平成19年度から平成23年度までの1期対策を経て、平成24年度から2期対策が県内各地でスタートし、地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理と農村環境の保全向上に取り組んでいます。

宮城県では、「共同活動支援交付金」「向上活動支援交付金」「復旧活動支援交付金」に取り組み、国や県・市町村の負担金を本協議会が受け、対象活動組織へ各交付金を交付するとともに、中間指導検査の実施や研修会の開催等、交付金の適正な執行が図られるよう対象活動組織を指導しています。

平成25年度については、共同活動に525組織(22市町)、向上活動は、組織の広域化・体制強化のみの活動に、5組織(1市)が取り組んでいます。

また、復旧活動では、東日本大震災等の影響により破損や機能低下等を生じた農地周りの施設の補修等に96組織(9市町)が取り組んでいます。



平成25年11月末現在

管内	共同活動		向上活動				復旧活動			
	市町村数	組織数	取り組み面積(ha)				市町村数	組織数	市町村数	組織数
			田	畑	草地	計				
大河原	6	50	2,561	145		2,706		2	5	
仙台	8	86	8,011	1,027		9,038		2	13	
北部	4	159	14,075	93		14,168		3	23	
栗原	1	111	7,550	186		7,736		1	33	
東部	2	21	3,953	0		3,953	1	5	0	
登米	1	98	7,020	545	6	7,571		1	22	
合計	22	525	43,170	1,996	6	45,172	1	5	96	



# 共同活動に係る対象組織支援研修会

日時：平成25年8月30日、9月3日、9月5日（3日間、3会場）  
 内容：平成25年度共同活動に係る対象組織支援研修会  
 会場：大和町まほろばホール(8月30日)  
 登米祝祭劇場(9月3日)  
 白石市ホワイトキューブ(9月5日)

農地・水保全管理支払交付金が2期目に入り、改めて事務を適正かつ円滑に処理されるようにと県内3会場で総勢1,040名の参加のもと開催しました。

このように大勢の方々が参加したことは、事務処理に対しての高い関心と、処理に苦慮されていることが伺えます。

今回の研修会では、事務局より事務処理についての留意点や変更箇所を説明し、その後に行われた活動組織等による事例発表では、組織内の苦労と本事業がもたらす地域のコミュニケーション等について発表が行われました。

また、農業に必要不可欠な水路を延命化するための簡易補修についてDVDを上映しました。



8月30日 大和町まほろばホール



9月3日 登米祝祭劇場



9月5日 白石市ホワイトキューブ

## 復旧・復興パネル展



## 事例発表

8月30日  
大和町まほろばホール



下草ふるさと保全会  
(大和町)



東鹿原集落環境保全会  
(加美町)



長岡針地区農地・水・  
環境保全向上活動組織  
(大崎市)



水路の草刈り作業



水路の泥上げ作業



農道の砂利補充作業

## 事務処理について説明



水路を大切に  
管理して  
いますね。



9月3日  
登米祝祭劇場



浅部農地・水・環境保全  
活動組織  
(登米市)



志波姫地区  
十文字地域環境保全会  
(栗原市)



東部管内活動組織  
(東部地方振興事務所)



花の植栽作業



生き物調査



学校教育との連携  
出前講座



9月5日  
白石市ホワイトキューブ



新町地区ふるさと保全会  
(蔵王町)



巨理地区資源保全隊  
(巨理町)



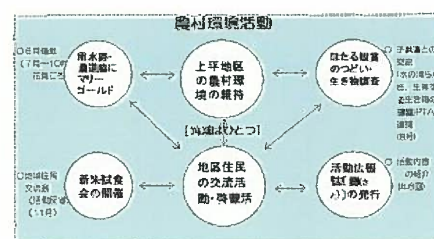
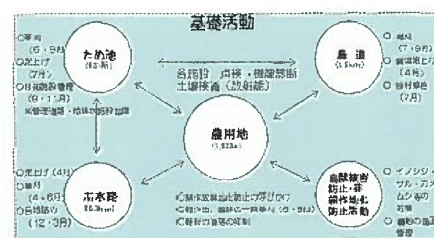
上平地区環境資源保全隊  
(白石市)



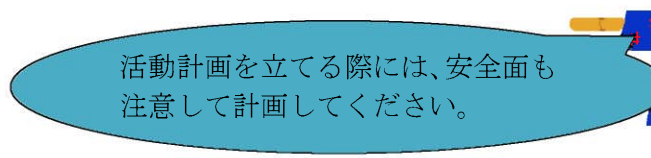
役員会



カバープランツ芝桜の植栽



説明資料



# 復旧活動に係る対象組織支援研修会

日時：平成25年10月28日、10月29日（2日間、2会場）  
 内容：平成25年度復旧活動に係る対象組織支援研修会  
 会場：大河原合同庁舎（10月28日）  
 登米合同庁舎（10月29日）

宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会は、去る平成25年10月28日、29日の2会場において、県内の活動組織や関係者など約230名の参加のもと、農地・水保全管理支払交付金に係る円滑な事務処理と、東北農政局技術事務所の職員から、水利施設の長寿命化に向けた補修技術の説明による、支援研修会を実施しました。

参加者は安全かつ円滑に作業を実施するため熱心に受講していました。



会場風景

10月28日 大河原合同庁舎

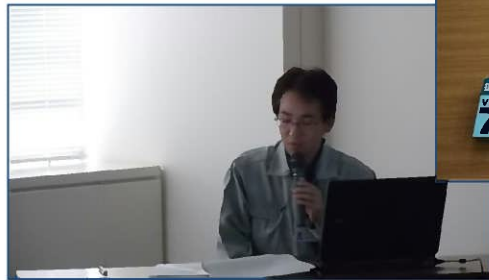


10月29日 登米合同庁舎

## 講義（東北農政局 土地改良技術事務所）



～向上活動における他地区の経験～



～農業水利施設の長寿命化に向けた補修技術～

## 事務処理について説明



## 作業時の安全確保について

- ・慣れている作業でも、改めて作業時の安全確保をしてから作業を始めてください。
- ・重機を使用する作業では誘導員を適切に配置してください。
- ・必要に応じてヘルメットを着用してください。
- ・無理をせず、作業が可能な範囲で実施してください。

# 活動事例



## めだかの学校「びおと〜ぷ」石母田ふる里保全会(加美町)

### ～石器による稲刈り体験等の活動～

去る平成25年10月10日(木) 毎年恒例となっている、宮崎小学校6年生26名の参加の下、石器(黒曜石)による稲刈り体験が実施されました。

子供達は、刈り取った稲の束ね方や、稲の日干しの方法、「びおと〜ぷ」での生き物調査など普段体験できない作業を楽しみました。

また、今回刈り取った稲は、精米して学校に贈呈され、「スローフード活動」等で食味されました。



縄文時代の人たちは黒曜石を加工した、石包丁で作業をしていました。切れ味も良く子供達は驚いていました。

大人も子供も楽しみながら作業をしていました。

石母田ふる里保全会の皆さん大変ご苦労さまでした。  
学校教育との連携した活動を恒例化し、ピオーツを作るなど熱心に活動しています。  
これからも継続的に活動をよろしくお願いいたします。

## 「田んぼの学校」北小塩環境保全協議会(大崎市)

### ～田んぼに行こう！自然で学ぼう！～

去る平成25年10月13日(日)、子供達に田んぼや水路が織りなす農村環境に触れ、心豊かな成長の手助けになるよう、農業者を含む大人21名と子供5名の参加のもと実施されました。午前中に「稲刈り体験」をしたのち、地元の食材を使用したお昼を食べ、午後には「のんびりぶらぶら北小塩」と題し、切伏沼周辺公園付近で生き物調査をし、今回のイベントを終了しました。参加した子供達と保護者の方々は、改めて地元のすばらしさを実感していました。なお、今回のイベントで、田んぼや水路は美しい農村環境に必要な不可欠である事を理解していただくとともに、子供達だけの危険な遊びは絶対にしないよう併せて指導も実施しました。



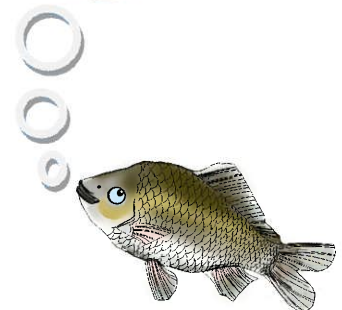
楽しく稲刈り体験をする子供達



お昼に行った餅つき



生き物調査と水難防止の説明



北小塩環境保全協議会と参加者の皆さん大変ご苦労様でした。  
餅つきや生き物調査など、住民の子供達が楽しめる活動を企画しています。  
また、水路等は安全に遊べば、素敵な遊び場になりますが、危険な場所や遊び方もしっかり指導しています。  
これからも農家と非農家の皆さん一緒に地域のためにがんばってください。



## 下刈敷地区環境保全活動組織(栗原市志波姫)

去る、平成 25 年 12 月 5 日に文部科学省東館3F 講堂(東京千代田区霞が関)にて、「平成 25 年度優れた地域による学校支援活動推進にかかる文部科学大臣表彰式」が行われました。

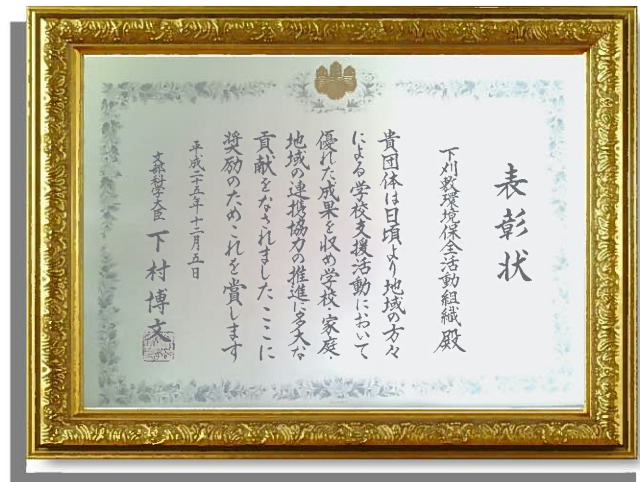
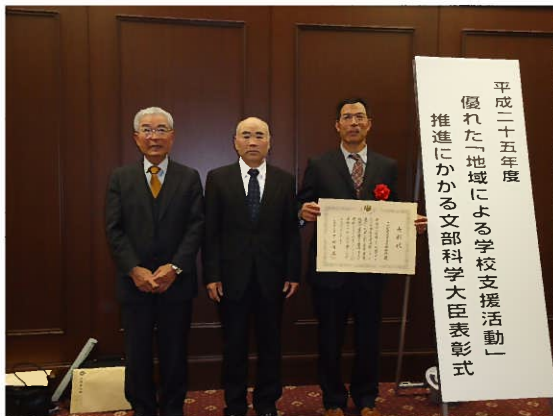
その中で、栗原市志波姫の下刈敷地区環境保全活動組織で実施している学校支援活動が認められ、文部科学大臣表彰を受賞しました。

今回の表彰では、文部科学省からの表彰で有り、「農地・水」の活動が地域の活性化や農地の保全だけではなく、学校教育への貢献も高く評価されました。

下刈敷地区環境保全活動組織では、地元小学校の総合学習の一環として、学校教育を支援しています。その中でも、地元で昔から生息している黒めだかを、小学生と一緒に田んぼに放流し、その田んぼで栽培したお米を「めだかっこ米」として独自ブランド化しています。

また、下刈敷地区環境保全活動組織は過去に以下の賞も受賞しています。

- ・平成23年度 宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会優良組織表彰 : 宮城県知事賞
- ・平成24年度 「豊かなむらづくり全国表彰事業(東北ブロック)」 : 東北農政局長賞
- ・平成25年度 「宮城県教育委員会協働教育推進功績」 : 宮城県教育委員会教育長賞



### 小学校総合学習活動



後藤先生のお話し



メダカの放流



メダカの捕獲



下刈敷地区環境保全活動組織の皆さん受賞大変おめでとうございます。

皆さんの活動は、他の組織のお手本となり、励みになると思います。

今後とも、農地・水の活動による地域貢献をして頂きますようよろしくお願い致します。





# その他活動・情報提供

## むすび丸花壇で元気な宮城をPR

宮城県では、去る平成25年4月1日から6月30日まで、全国からの復興支援に感謝と多くの観光客に元気になった宮城をPRするため、仙台・宮城デスティネーションキャンペーンを開催しました。その取り組みの一つ「むすび丸花壇」の設置に本事業から3活動組織が参加し、観光客の目を楽しませていました。



秋保町加澤保全隊  
(仙台市太白区秋保町)

おのだ城内・上区活動組織  
(加美町小野田)

栗原市志波姫北区地域活動組織  
(栗原市志波姫)

## 第1回 みやぎのふるさと のんびり 農美里フォトコンテスト

応募締切  
1月31日まで

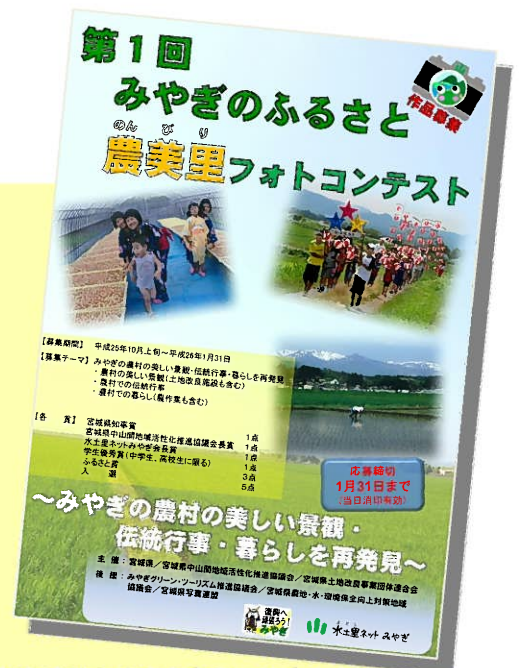
【募集期間】 平成25年10月上旬～平成26年1月31日

【募集テーマ】 みやぎの農村の美しい景観・伝統行事・暮らしを再発見

- ・ 農村の美しい景観(土地改良施設も含む)
- ・ 農村での伝統行事
- ・ 農村での暮らし(農作業も含む)

各賞	内容	点数
宮城県知事賞		1点
宮城県中山間地域活性化推進協議会長賞		1点
水土里ネットみやぎ会長賞		1点
学生優秀賞(中学生、高校生に限る)		1点
ふるさと賞		3点
入選		5点

【応募先】 〒980-0011 仙台市青葉区上杉2丁目2-8 水土里ネットみやぎ(宮城県土地改良事業団体連合会)  
第1回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト事務局 TEL 022-263-5811



※フォトコンテストは、農地・水保全管理支払交付金の対象活動ではございません。  
興味のある方個人での応募になりますのでご注意ください。  
申込書等の詳細は、本協議会ホームページに掲載しておりますので、参照願います。

## 組織の皆様へ 積極的なPRのお願い

農地・水保全管理支払交付金の取り組みは、農地・農業用施設等の保全の他、地域コミュニティ形成にも寄与しています。  
このことから、広く県民に本取り組みを知って頂く必要があります。  
そこで、組織の皆様には、今後次のことに留意しながら、取り組みを進めて頂きたいと願います。

1. 取材を受けた際は「農地・水」や「〇〇保全隊」など、農地・水の取り組みである事を伝えてください。
2. 特徴ある活動について積極的に、報道関係に投げ込みをしてください。
3. 特徴ある活動は宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会に情報提供してください。

## 宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会のホームページをご覧ください！

アドレスは <http://www.nmk-miyagi.org> です。「宮城県 農地・水・環境保全」で検索していただいてもご覧になれます。

※研修会などの資料等もダウンロードできます。



## 編集後記

美しい田園風景は、昔から農業を営む方々やそこで育った方々にとって故郷であり、今そこに住む子供達にとっても故郷になります。命を育む農業と農村を次世代に引き継ぐ役割を地域住民が担っています。  
宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会は、これからも地域に根ざした活動を支援します。



### 【問い合わせ先】

宮城県農地・水・環境保全向上対策地域協議会事務局

〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号  
TEL: 022-263-5829  
FAX: 022-268-6390

ホームページ : <http://www.nmk-miyagi.org>  
e-mail : [info@nmk-miyagi.org](mailto:info@nmk-miyagi.org)